

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ香芝		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39人	(回答者数) 30人
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育を通して、お子様一人ひとりに合わせた活動内容を考えて提供している。	お子様の成長等、スタッフみんなで共有しながら、療育の活動内容や支援内容に繋がっています。 前回の療育内容を確認し、継続した支援が届けられるように意識しています。	スタッフ間で療育を振り返る会議を設け、お子様の発達段階や支援内容の共有を行いやすくなるよう努めます。
2	保護者様と一緒にお子様の様子について共有しながら、日常生活に繋がる支援を話し合える。	定期的なモニタリングやフィードバック時等に、保護者様と共にお子様の様子について話し合っています。 必要に応じて、ゆっくりと時間を取ってお話できる体制を整えています。 掲示場でもお知らせしています。	保護者様が話したい時に声を掛けて頂きやすくなるように、体制を整えています。 モニタリングやフィードバック時等で、悩みを聞き取りながら、保護者様にお声がけさせていただきます。
3	1人のお子様、それぞれのスタッフからの多面的な視点で関わる事ができている。	療育目標を基に、スタッフの個性や他職種の視点の中で、遊びを工夫して提供しています。	持ち寄った遊びをスタッフ間で体験する場を設け、遊び方の案をそれぞれ出し合いながら、スタッフのスキルを高めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	出入口が取付階段になっている。	構造上バリアフリー化が難しく、出入口口に取付階段を使用しています。	お子様、保護者様の出入りがある際は、取付階段の傍で見守り安全面に配慮していきます。
2	施設が道路に面している為飛び出すリスクがある。	退所時、お子様が靴を履いた後に、道路方面に走り出す場面が見られる事があります。	道路前にストップ表示を掲示し、飛び出すリスクの軽減に繋がります。
3	保護者様同士の交流の機会が少ない。	同時間の利用以外、保護者様同士で交流する機会が少ない状況です。	親子イベントの開催を定着してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ香芝				公表日			2026年 3月 2日		
		利用児童数				2026年 1月 5日			回収数 30名/39名中		
		チェック項目				ご意見				ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない						
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	27	3	0	0	いつものびのびと体をしっかり使えるように考えてもらっています。	今後も、のびのびと身体を動かせるスペースを確保できるように、環境や遊具配置の工夫に努めていきます。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1	0	1	個別に丁寧に対応してもらっています。個別なので安心。	引き続き安心してご利用して頂けるよう心掛けていきます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	0	0	0	兄弟の小さい子が動き回っても危ないものがないように配慮されています。あそび、その日に使うものは明確にされていて活動しやすくされていると思います。本人が何をしたら明確に説明できるから。	今後も安心安全にお子様がお過ごしできるような環境設定を行っていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28	2	0	0	運動系療育施設なのに汗の香りもせず、綺麗な空間で有り難いです。	引き続き、掃除・感染症対策等の環境整備を行っていきます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	0	0	0	どの先生もしっかり我が子に向き合っ て対応してくれています。	お子様のよりよい支援を届ける事ができる よう、保護者様とお話ししながら取り組 んでいきます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	29	1	0	0		5領域のプログラムを共有しています。 全職員が5領域の支援プログラムを把握 できるように共有していきます。			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	0	0	こちらの不安な思いをプラスにとらえ、しっかり課題に置き換えて支援計画を立ててもらえている と思います。また明確に書いてあるので支援内容もわか りやすいです。	今後も引き続き、お話しして頂きやすい環 境の中で、保護者様と話し合いながら計 画書作成に取り組んでいきます。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	0		個別支援計画書にお子様に合わせて項目 を記載しています。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	1	0	1	しっかり課題に沿った内容の支援をしてくださ るため、半年後のモニタリングの時期に子の姿を確 認すると、力がついて課題クリアになっていること が多いと感じられます。	引き続き、児童発達支援計画と照らし合 わせながら療育に取り組んでいきます。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2	0	3	モニタリングで話して、教室の時間内の話を先生か ら聞いて実感しています。 毎週変わる先生が違うことがよいしげきに 色々な先生に関わってもらうことで固定概念がな く、色々なアプローチをしてくださっていると思いま す。	引き続き、一人ひとりのお子様に合わせて活動内容 を考え、療育に取り組んでいます。また、楽しんで 取り組める活動内容を工夫していきます。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	4	5	10	なかなか機会がない印象です。交流があ っても知るのが難しいです。 自分が把握できてない	所属する園・学校との交流の機会は行っ ていませんが、会社全体での地域交流の 行事を開催しています。			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	0	0	0	いつも丁寧に時間を使って話していただ いてます。	インテークの際に利用に関する内容を説 明させて頂いています。			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0	いつも丁寧に時間を使って話していただ いてます。	個別支援計画書の作成後保護者様に説明 同意をいただいています。			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	0	2	9	いつも丁寧な説明していただいています。	親子イベントの中に、保護者様だけで過 ごして頂く活動を取り入れています。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	27	2	0	1	話しやすい雰囲気先生に話しやすく様々な子の変 化や様子を共有していただいています。 少しの変化も気付いて下さるので助かります！	お子様の状況を保護者様と伝え合い、健 康や発達の状況について共通理解でき るよう努めています。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	0	2	3	十分していただいています。 非常に詳細なヒアリングを頂き、専門知識を用いて アドバイス・情報提供頂いていると思います。	定期的にお話しできる機会を設けていけ るよう心がけています。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1	0	1	十分していただいています。	来所時やモニタリング時に、日常場面、療育場 面でお子様の成長を保護者様と伝え合う事がで きるよう心掛けています。			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	3	2	9	クリスマスイベントでは過去の事業所さんで参加 したイベントより、明るい雰囲気でお集り ことができました。ご縁があれば友達をそれらな雰 囲気でさありました。 クリスマス親子リフレッシュデイでは、親同士 交流ができました。きょうだい児についての交流は 不明です。	親子イベントを開催しています。 きょうだいの参加も受けたいイベント も今後検討していきたいと思いま す。			
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	0	8	十分していただいています。	保護者様が話したい時に声掛けをして頂 きやすくなるように、体制を整えていま す。今後、掲示場でもお知らせしてい きます。				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	4	0	0		お子様、保護者様の思いに寄り添う気持ちを常に心がけていきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	3	0	6		Instagramを通じて活動内容を共有しています。また今後は通知アプリを使用し、必要な情報を適時発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	1		個人情報が入ったファイルは、使用毎に棚に戻す・個人情報は持ち出さない・書類はシュレッダーにかけて破棄する等しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24	1	0	5		各マニュアルは策定済みです。また研修、訓練、訓練報告を行なっています。待合室に掲示していますのでご覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1	0	5	まだ利用開始から日が浅めなので、存じないのかと。	避難訓練、防犯訓練を定期的に行っています。実施した際は、待合室に掲示させていただきますのでご覧ください。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	2	0	1		避難経路等を把握して支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	0	0	4	怪我をしていない 小さい怪我でも丁寧に対応してもらっています。 まだケガ等したことがないので	打ち身や擦過傷があった場合、保護者様に該当箇所の確認をしてもらっています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0	UTが1番大好きです	お子様に安心して通って頂けるような関わりや環境作りを心掛けていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	0	0	とても楽しいと言っています。 カレンダーにUTの文字を書いておくと、自分であとでUTいける！今日はUTの日や！と楽しみにしている。 めっちゃ行きたがる療育です 喜んでいつも通わせてもらってます！ 楽しみにしている様子です！	お子様の興味・関心を取り入れながら活動内容を考え、療育グッズの作成を行っています。楽しい療育が届けられるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	0	0	0	いつも丁寧に話を聞いてくださり、子への向き合い方や工夫が先生がたで共有されると感じます。 いつもありがとうございます。色んな悩みについても、しっかり対応してもらえて、安心できています。これからもよろしくお願ひします。 サカタニさんから頂く専門知識は知らないものも多く（専門性が高い）、私が娘への理解を深めるのにたいへん役立っています。	各指導員が多角的視点を持って、お子様に寄り、気付きを共有しながら療育に取り組んでいます。支援目標に加え、お子様に、「やりたい」「楽しい」「できた」と感じてもらえる療育を、今後も届けられるよう心掛けていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	リハビリ発達支援ルームUTキッズ香芝				公表日	2026年 3月 2日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	その時の療育に必要な療育用品、遊具を選択し療育室に置くようにし、安全に身体が動かせスペースが広がるような環境作りを心掛けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	規定通りの人数を配置しています。	急な欠勤者が出た時の補助が、常にできるよう連携を行っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	手洗い場に、手洗いうがいの手順表を貼ったり、待合室と療育室の壁紙を変えたり、活動場所のわかりやすさに繋がるように配慮しています。バリアフリーではないため、入り口の段差に階段を設けています。	バリアフリーができていない場所に対して職員間で把握し安全面に配慮できるよう周知して行きます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日、掃除、消毒を行い、清潔に保つよう努力しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	遊具・玩具整理室の1スペースを必要に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	事業所目標で前期、中期、後期で振り返りを行っています。業務の改善が必要な時は、職員で話し合いをしています。	定期的に現状について振り返り、改善策を提案できる環境を整えていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	アンケートなどを通して把握しています。	今後も改善点について話し合いをおこなっていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	共有会議等で、職員全体で意見を出し合う機会を設けています。	意見を言いやすい環境づくりを心掛け、職員全体で話し合いを進めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	第三者の評価は行われていないです。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	外部研修の共有、法人・事業所内研修を行っています。	スタッフが参加しやすい体制を整えていきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	ホームページにて5領域のプログラムを公表しています。	全スタッフが把握し支援に取り入れていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	計画書更新時に、お子様の状態を保護者様と話し合いながらモニタリングを行い、お子様と保護者様のニーズに沿った計画書に繋がるよう努めています。	計画書見直し会議の日程調整を行い計画書作成ができるよう取り組んでいきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	計画書を作成する中で、今の現状や目標になる課題の共有を行っています。	モニタリングの内容や日頃の療育の内容、保護者様からの聞き取り等を基に、計画書作成会議を行っています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	パソコンやファイルからいつでも確認できるようにしています。計画書を確認し、計画に沿った支援を行っています。	ねらいに基づいた支援が出来るよう職員間での共有を密に行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	保護者様への聞き取りや観察から行っています。	検査等ができるスタッフを育成し、評価材料を増やしてまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	法人内では、新人研修、フォローアップ研修、専門研修、管理者研修、その他学習、保育所等訪問会議内において各課題となる内容に対し研修を実施しています。	計画書の見直し時、支援内容に対して振りかえり必要に応じて支援内容を変更し、個々にあった支援計画書を作成してまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	子どものニーズに合わせた活動内容を、会議等で話し合っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	一人ひとりのお子様に合わせて活動内容を考え、療育に取り組んでいます。職員間で活動の共有を行い、活動の提供の幅を広げられるよう努めています。	お子様が楽しんで取り組める活動内容を工夫してまいります。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動は実施していない為、必要に応じて同時間の児童とのやり取り等を通して支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	支援開始前に、職員間で活動内容の確認や打ち合わせを行っています。前回の活動内容を、聞き取りや記録で確認し、職員で連携して支援が行えるよう心掛けています。	チームでの連携ができる体制を整えていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	気づいた点を、共有しています。	共有時間の確保に努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々記録を入力し支援に活かせるように心掛けています。	記録から見える子どもの様子については把握できるような記入の仕方を見直してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	管理者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	必要に応じて連携を行っています。	保育・教育機関とは保育所等訪問支援を通して連携は取れていますが医療機関等との連携は取れていないので今後連携が取れるよう取り組んでいきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	保護者を通して支援内容を伝えたり、実際に見てもらったりして共有できるようにしています。	相談支援員、園、学校等に事業所の見学、情報共有ができることを、周知できるよう取り組んでいきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2	必要な児童に関しては書面等で情報を提供しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	3	外部の助言を受ける機会はないです。助言を受ける段階ではないが、連携を図る準備は進めています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	3	所属する園との交流の機会は行っていませんが、会社全体での地域交流の行事を開催しています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	来所された時や、フィードバック時、モニタリング時などに保護者様と話をしています。	保護者が求めている内容をわかりやすく伝達できるよう心掛けていきます。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	SNSやチラシ等で情報提供を行っています。	伝達アプリを導入して情報提供していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明するようにしています。	分からなことがある際にはいつでも伝達できるようスタッフ間で共有できるようにしていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	計画書更新時にモニタリングを行い、お子様やご家族の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	モニタリング時や計画書作成時に説明を行い、内容を確認して同意して頂いています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	必要に応じて実施しています。	子育てサポートの在り方を周知し気軽に相談できるような環境を整えていきます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	保護者様同士の交流が持てるイベントを開催しています。	保護者様が興味のあるイベント等を立案し参加率が上がるよう工夫していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	その時々に応じて話を聞き、相談後に職員間で共有するようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	Instagramで定期的に発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報が入ったファイルは、使用毎に棚に戻す・個人情報は持ち出さない・書類はシュレッダーにかけて破棄する等しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚支援グッズやジェスチャー、触れ合い等で、お子様の特性や状況に合わせた方法で、意思相達が回りやすくなるよう心掛けています。保護者様への情報伝達については、お声がけや、お知らせの貼り出し、手紙配布、電話連絡等を行い、漏れがないように心掛けています。	個々に合わせてその都度対応できるよう臨機応変に取り組んでいきます。
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	会社全体での地域交流の行事を開催しています。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	計画を立てて訓練を行っています。訓練実施内容等を掲示場でお知らせしています。	職員間で周知できるよう教員研修を行っています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	計画を立てて訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	把握できるよう発達記録や利用記録書に記入して頂いています。発作が起こりやすいお子様は、療育開始前に1週間の様子を保護者様から聞き取り記録に残し、状態の共有と把握を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	食べ物を使う時は、事前に保護者に確認を行っています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	計画を立てて訓練しており、実施した内容を掲示しています。	年間計画を立て研修、訓練を行っていき、療育に繋がられるようにしていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に説明するようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットが起こった時に協議を行い、再発防止できるようにしています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1	契約時に説明するようにしています。		